

【令和2年度】表彰

<環境活動功勞表彰>

●川村 幸一

エコミュージアム・大沢の里を守って18年。三鷹市が実施する水車ボランティア養成のための専門講座を受講し、市民解説員になったことをきっかけに、大沢の里で、水と緑の環境保全運営に幅広く、積極的に携わり、多くのボランティアに参加している。主なものは、200年以上の歴史のある新車の水車の解説員や、公園ボランティア※「しんぐるま廻し隊」、ほたるの里三鷹村ボランティア、ほたる保護管理地ボランティアなど。春には田んぼに鯉のぼりを泳がせ、子ども達を喜ばせたり、夏にはホタルの鑑賞に来る人を保護域内に案内したりしている。安全な鑑賞のため、保護域内の園路の整備も自ら行った。田植えの時期には作業に来る近隣の小学生の対応をしたり、学校で行われる研究発表のために子ども達からの質問に答えたりと、地域の子も達とのつながりが生まれている。今後もできる限り活動をしていくつもりである。

※公園の清掃や子どもたちの見守りを行う団体のこと。市に登録を行うことでほうき・ちりとり等の清掃用具が支給される。

●玉川上水の環境を守る会

緑豊かな玉川上水の環境を守るために会を発足し、他地域の団体とも連携しながら活動を進め、1986年には21年ぶりの玉川上水通水を実現させた。その後も玉川上水での清掃活動等を行うとともに、「玉川上水緑の保全事業都・区市連絡協議会」には現在も出席している。玉川上水沿岸の地質に合わない土手の補修作業が行われた際には、シダなどの植物を植えることで土手を守る方法を、玉川上水を管理する都に提案した。また、多くの人に玉川上水の環境について知ってもらうきっかけとなるよう、三鷹駅南口から井の頭公園まで続く「風の散歩道」を題材とした歌を作成した。これからも活動は継続し、玉川上水についてのシンポジウム等を開催したいと考えている。

<環境活動奨励表彰>

●三鷹中央学園三鷹市立第四中学校 教育支援学級

支援学級の生徒は学校の中で活動しがちであるが、災害時などいざという時には地域の協力が不可欠である。そのため、顔を知ってもらいたいという思いから、地域に出ていく活動に積極的に取り組み、そのうちのひとつとして、地域にある八幡大神社での清掃活動を行っている。昨年度は四中の生徒のみでの取り組みであったが、今年度はコミュニティ・スクールの基盤を生かし、七小の支援学級の児童も参加した。八幡大神社へ行くと声を掛けてもらえることもあって、生徒の清掃への意識が高まり、学内でも自発的に清掃に取り組む姿が見られるようになった。環境活動を通して地域とつながる、この素敵な活動を広く知ってもらいたいという思いがある。今後も活動を継続して、さらに広げていければと考えている。